



いまばり

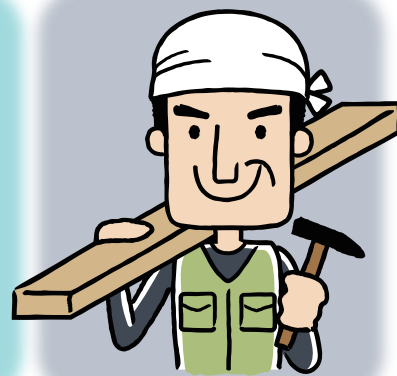
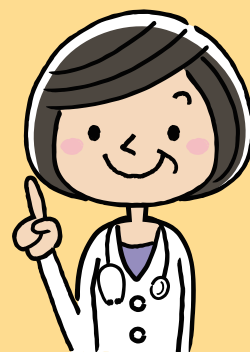
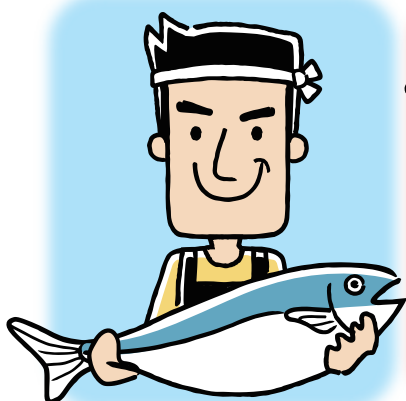
11月1日号

2020年/令和2年

第63号

# 市議会だより

発行■今治市議会議長 今治市別宮町1丁目4-1 TEL0898-36-1580 FAX0898-36-1582  
編集■広報広聴特別委員会 ホームページ■<https://www.city.imabari.ehime.jp/gikai/>



## えがお・いまばり



### もくじ

7月臨時会	2	委員会審査	8
代表質問	4	議案の審議結果	10
一般質問	5	議会日誌	12
質疑	6	決算特別委員会の設置	12

令和2年度9月  
一般会計補正予算  
23億4,424万2千円  
原案可決

# 7月臨時会の あらまし

国の新型コロナウイルス感染症対応  
地方創生臨時交付金等に対応するため、  
臨時会を7月21日に開催しました。

提案された一般会計補正予算案につ  
いて、1人の議員が質疑を行い、理事  
者からの答弁を得ました。この後、委  
員会に付託し、委員会審査を行いました。  
た。

審査終了後、本会議を再開し、委員  
長報告の後に、提案された一般会計補  
正予算案の採決を行い、賛成多数によ  
り原案を可決して、臨時会を閉会しま  
した。

## 7月臨時会

### 質 疑

発言者



丹下 大輔  
(権輿会)

○議案第88号「令和2年  
度一般会計補正予算(第  
9号)」について

- ① 歳出7款1項3目  
サイクルシティ推進事  
業費について
- (1) スポーツ用自転車の定  
義について
- (2) 助成の対象について

- ② 歳出10款1項2目  
学校教育充実活性化事  
業費について
- (1) 配置計画と基準につい  
て



## 委員会審査

### 総務委員会

#### バス・タクシー事業継続 支援金

新型コロナウイルス感  
染症による影響を受けて  
いるバス・タクシー事業  
者の事業継続を支援しよ  
うとするもの。

#### 災害対策費

避難所における感染症対  
策に必要なパーティシヨ  
ンの購入費。

### 教育厚生委員会

#### ひとり親世帯臨時特別給 付金給付事業費

新型コロナウイルス感  
染症の影響により、子育  
てと仕事を一人で担う低  
所得のひとり親世帯に特  
に大きな困難が生じてい  
ることを踏まえ、子育て  
負担の増加や収入の減少  
に対する支援を行なおう  
とするもの。

#### 出産育児応援給付金給付 事業費

新型コロナウイルス感  
染症の影響が長期化する  
中、国の特別定額給付金  
の支援対象となる基準日  
の翌日以降に生まれた新  
生児を養育する子育て世  
帯を支援しようとするも  
の。

#### 学校教育充実活性化事業 費

学校における感染症対  
策や健康観察の取りまと  
め作業など、教員の業務  
を支援するスクール・サ  
ポート・スタッフを小中  
学校に配置しようとする  
もの。

### 産業環境委員会

#### いまばりワーケーション 推進事業委託料

新型コロナウイルス感  
染症の拡大により、企業  
が新しい働き方を導入す  
る中、職場や居住地から  
離れ、テレワークを活用  
して仕事を継続しつつ、  
その地域ならではの観光

や交流を行う「ワーケー  
ション」の実施について  
検討するため、調査や実  
証等を行なおうとするも  
の。

#### テレワーク機器導入費補 助金

国の「働き方改革推進  
支援助成金」を受けてテ  
レワーク機器を導入する  
事業者を支援しようとし  
るもの。

#### コワーキングスペース等 整備事業費補助金

事務所スペース等を共  
有しながら、独立した仕  
事を行う開放型の共働事  
務所を開設する事業者を  
支援しようとするもの。

#### バックアップオフィス等 整備事業補助金

市内で感染症予防や事  
業継続対策として、ICT  
Tを活用し、本社以外の  
場所でもリモートワーク等  
により勤務する事務所を  
整備し、テレワークを推  
進する事業者を支援しよ  
うとするもの。

**テレワーク等定住支援費補助金**

テレワーク、分散勤務導入に伴い市外から転入し、5年以上定住する50歳未満の世帯を支援しようとするもの。

**経営継続支援金**

新型コロナウイルス感染症による影響を乗り越え、経営の継続や販路の回復・開拓に取り組む農業者、林業者、漁業者を支援しようとするもの。

**「ふるさと魅力再発見の旅」事業費補助金**

市民に地域の魅力を再発見する機会を提供するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内観光関連事業者を支援し、地域経済の回復を図るため、市民を対象とした市内宿泊・市内観光を促進する取組を支援しようとするもの。

**サイクルライフ促進事業補助金**

通勤などの移動時の3

密回避など、新しい生活様式への転換を図るとともに、健康増進や地域の魅力を再発見するツールとして自転車活用を推進するため、自転車等の購入経費等を助成しようとするもの。



令和2年7月臨時会 議案の審議結果

番号	件名	結果
		7月21日議決
議案 88	令和2年度 今治市一般会計補正予算（第6号）	原案可決（賛成多数）

各議員の議案に対する賛否状況

賛否の分かれた案件の賛否状況を記載しています。

議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
番号	丹下大輔	黒川美樹	壺内和彦	永井隆文	松田澄子	羽藤謙司	井村雄三郎	山岡健一	野間有造	藤原秀博	越智忍	重松真司	木村文広	渡部芳史	谷口京典	森近藤博	森田博	矢野雄嗣	越智豊	中村卓三	渡辺文喜	松岡一誠	井手洋行	平田秀夫	堀田順人	本宮健次	岡田勝利	加藤明	寺井政博	松田敏彦	井出健司		
議案 88	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	欠	○	○	○	○

※ ○：賛成 ×：反対 欠：欠席  
 ※ 堀田順人議員は、議長職のため表決に加わっておりません。

市議会ホームページへアクセスしてみませんか



市議会の活動をより詳細にお伝えするため、ホームページを開設しています。ぜひアクセスください。



アドレス <https://www.city.imabari.ehime.jp/gikai/>



# 9月定例会のあらまし

今定例会は、2日から18日までの17日間の会期で開催され、2日の本会議では、GIGAスクール構想に係るタブレット購入、通信ネットワーク整備事業の2件の議案が提案され、委員会審査を経て、いずれも原案のとおり可決しました。この後、令和2年度一般会計補正予算ほか25件が提案されました。

4日は質疑と代表質問を行い、7日、8日の2日間は4人の議員が一般質問を行い、理事者からの答弁を得ました。

18日の本会議では、理事者から令和元年度一般会計特別会計歳入歳出決算の認定議案など2件の追加提案と、議会において決算特別委員会の設置及び委員の選任、意見書提出の発議を行いました。

今定例会に提案された議案については、決算関連議案を継続審査とし、それ以外の議案についてはいずれも原案のとおり可決して、今定例会を閉会しました。

## 9月定例会

## 代表質問



党 明 豊  
(渡部 豊)

### 公共工事の平準化について

**Q** 建設業界の活性化による担い手確保のためには、公共工事の平準化が必要です。

**A** 債務負担行為を積極的に活用して、年間を通して事業を進められる体制を整えておく必要があると考えますが、見解を伺います。

### 代表質問

**Q** 公共工事の施工時期の平準化については、工事の繁忙期である1月～3月と閑散期である4月～6月の工事量の差をできるだけ少なくし、年間を通じた工事量を安定させることで、建設業者の経営の健全化、人材、資機材等の効率的な活用による労働者の処遇改善、担い手確保、公共工事の品質確保等につながるものであり、さらに災害への対応力向上等

にも効果が期待されます。今後は、事業内容や事業規模等を個別に勘案しながら、債務負担行為を活用し、閑散期である年度当初の工事量を確保し、工事施工時期の平準化に努めてまいりたいと考えています。

**Q** ゼロ市債とは、通常、新年度に発注する工事を現年度中に支出を伴わない債務負担行為を設定し、現年度中に入札、契約を締結することにより、年度内または新年度早々の工事着手を可能とするものです。そこで、ゼロ市債の活用について伺います。

**A** 県内では、松山市、新居浜市が活用している事例もありますが、現在の本市の発注形態、他の自治体のゼロ市債活用の効果等を勘案しながら、引き続き検討してまいります。

### ほかの質問

- ・「新しい生活様式」に向けた諸施策の具体化について
- ・コロナ禍における避難所運営の在り方について



会 如水 典 京  
(森 京典)

### 今治市の財政運営について

**Q** 本市の財政運営は、まだまだ厳しい環境、要因がある中、健全に運営されていると考えられる。5年ごとに作成される「今治市の財政の現状と今後の対応について」は、間もなく示されると思うが、財務指標はどのようになり推移してきたか。また、今後10年間の財政収支を予測し計画する中長期財政収支見通しと、これに連動し、3年間の具体的事業内容を示す実施計画を毎年新しく調整して公表すべきと思うが、所見を問う。

**A** 普通交付税の合併による特例加算が終了した後の財政運営を懸念する多くの自治体と

協力して、国に粘り強く要望した結果、特例加算額が令和2年度算定では約40億円還元された。減額幅が大きく圧縮されたことで、本市の財政運営については、しつかり乗り切っていける。

市債については、大変有利な起債である合併特例債を積極的に活用して、新ごみ処理施設、小中学校の耐震化などの施設整備を進めたことから市債残高が増加したものの、償還期間を短く設定するなどして早期償還に努めた結果、市債残高は順調に減少している。平成26年度に40.2%であった将来負担比率が平成30年度には1.6%と、大きく改善した。

中長期財政収支見通しと実施計画、ともに毎年度見直しを行い、実施計画は公表している。中長期財政収支見通しの毎年の公表についても、検討していきたい。

今後とも、市民に安心してもらえる健全財政運営を維持し、さらなる財政基盤強化に取り組んでいく。



松田 澄子 (日本共産党)

コロナ禍における20人学級の実現について

Q 国に対して、少人数学級の検討を求め、20人学級を実現していただきたいと思うが、現在の学級編制について伺う。

A 国において、小学校1学年は35人、小学校2学年から6学年は40人、中学校は全学年40人を学級編制の標準と定めている。愛媛県では、法律に基づく加配教員の配置に伴う学級編制の弾力化により、国の標準よりも少人数としている。今治市でも、これに基づき、小学校35人学級を小学校1学年から4学年までとしている。

Q 20人学級に向けた課題について伺う。  
A 教員数については、学級数や児童生徒

数に基づき、法律の定めるところにより算定する。必要な教員数は現在の2倍とまではならないが、相当数の教員が必要になる。人件費、人材の確保の課題や教室数の増加により校舎の増改築等、施設整備に多額の費用を要する。

「核兵器廃絶平和都市宣言」を行っている今治市における平和行政について

Q 今治市の平和行政について伺う。

A 恒久平和を守っていくには、どうしたらよいかをしっかりと考えていく必要がある。広報いまばり8月号で「終戦75年」の特集を企画し発行した。戦争は何もかも破壊する。絶対に繰り返してはいけない、後世に語り継いでいかなければならないという強い思いを発信した。戦争の悲しさを風化させることなく、次の世代に正しく伝え続けることも行政の役割である。全ての人が平和の尊さ、ありがたさを享受できる社会のために、引き続き平和行政に取り組んでまいらなければならぬと考えている。



永井 隆文 (公明党)

独り暮らし高齢者の終活支援について

Q 本市における独り暮らし高齢者と終活支援の現状について、お伺いします。

A 令和2年3月末時点での本市の高齢者人口は5万4911人で、高齢化率は34.83%です。在宅の独り暮らし高齢者数は8600人余りで、そのうち生活保護を受給している方は800人余りです。また、相談の現状としましては、地域包括支援センターを中心に終活を含めた相談を受けており、市においては認知症に関する市民講座、ことぶき大学、老人クラブ大会など高齢者が集う機会を捉え、エンディングノートの活用など、終活の啓発活動に努めています。

Q 終活支援に対する本市の考えについて、お伺いします。

A 終活は、人生の終わりについて考える活動であり、最後まで自分らしい人生を送るための準備です。将来、認知症等により意思を伝えられなくなるのではないかとといった不安を解消するだけではなく、改めて自分を見つめ直し、やり残したことをやり遂げるよい機会となり、その後の人生をよりよく自分らしく生きるために、大変有意義な活動であります。本市におきましては、高齢者が集う様々な機会を捉え、終活の啓発活動を実施しております。誰もが自分らしい生き方ができるように、これからの人生をより充実したものにするために、今後機会あるごとに終活の大切さを周知してまいりたいと考えております。

ほかの質問

・行動経済学を生かした「ナッジ」について



黒川 美樹 (優風会)

空き家バンクについて

Q 今年度から取り組む「空き家バンク」の仕組みと今後の展開について伺う。

A 人口減少に立ち向かい、地域の活力を創出する「移住・定住の促進」を重要施策の一つとして位置づけ、移住者を増やすには住まい情報を提供する体制づくりも重要である。「空き家バンク」事業は、空き家所有者と空き家利用希望者の橋渡しを本市が宅地建物取引業者と連携して行う。本年度は、先行して島嶼部で実施するが、課題を整理しながら、事業を検証しながら、空き家情報の受付・相談体制を確立し、来年度以降、市内全域を対象に展開していく。また、移住希望者が必要とする情報を一元的に集約した「移住定住ポータルサイト」を9月末日途に開設する。

これからの学校教育の在り方について

Q GIGAスクール構想が前倒しになり、来年度から全生徒にICT環境が整備されることとなった。柔軟かつ選択肢を広げる体制づくりに努めるべきと考えますが、学校におけるICT環境を使った授業の可能性について見解を伺う。

A 学習の楽しさとは、知る楽しさ、表現する楽しさ、考えを共有する楽しさ、分かる楽しさだと考える。自分の学習の様子を撮影し、自分を振り返り、よりよいものにする中で、向上心の育成にもつながる。そして、容易に考えを表現したり、発表したりする楽しさを味わうことができる。また、小規模同士の学校間で、合同授業を行ったり、多様な意見交換をすることが可能になる。さらに、効率のよい個別学習が実施でき、個に応じた学力の向上に大変効果があると考えている。





谷口 芳史  
(公明党)

**新型コロナウイルス感染者に対する誹謗中傷などについて**

一般質問

**Q** 本市の中学校教師が新型コロナウイルスに感染しましたが、濃厚接触者に検査も行い、感染拡大は抑え込むことができました。しかし、残念ながら濃厚接触者でもない生徒たちに対しての誹謗中傷、差別があったと聞きました。このようないことが起こらないよう市長、知事もメッセージを発信しましたが、その行動や言動が誹謗中傷、差別であることが分かっているのか、感染者やその周りの人たちへの誹謗中傷がありました。感染者への人権問題が、それを教える学校現場で絶対に起こらないようにしなければいけません。どのように教師や児童生徒、保護者や地域に対応

**A**

していいのか、お聞かせください。

誹謗中傷があったことは誠に残念でなりません。保護者と連絡を密にしながら児童生徒が不安にならないよう見守りに一層努めます。学校・家庭・地域がそれぞれ役割を担いながら連携して人権教育を進めていくことが大切であると考えます。児童生徒については、不当な差別、嫌がらせを絶対許さないと強い心と、間違っていることを間違っているとしつかり意見が言えるように育てていきたいと考えます。教職員については、児童生徒の様子を注意深く見守るとともに、いつでも相談できるように児童生徒及び保護者との信頼関係をより築いていけるように努めます。保護者や地域の方については、子供とともに人権について考える機会を提供するなど、啓発に努めます。

ほかの質問

- GIGAスクール構想について
- プラスチックごみについて

質疑

9月4日の本会議において、理事者から提案された議案に対する質疑が次の事項について行われました。



松田 澄子  
(日本共産党)

発言者

- 議案第91号「令和2年度今治市一般会計補正予算(第7号)」について
- 1 歳出2款1項1目 高度情報化推進費について
  - 1 導入の目的について
  - 2 今後の方向性について
  - 2 歳出7款1項2目 商工振興対策費について
  - 1 キャッシュレス決済について
  - 2 実施期間について
  - 3 市民への周知について



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今治市議会では、3密を避けるため議席の間隔を空けたり、飛沫防止のため演壇などにアクリル板を設置しています。

今治市議会としても、お亡くなりになった方のご冥福をお祈りするとともに、一刻も早く収束することを願っております。

本会議のインターネット中継について



ここをクリック

本会議のインターネット中継の視聴方法

今治市議会ホームページの「市議会インターネット中継」をクリックする。

今治市議会では、開かれた議会を目指して、本会議のインターネット中継を行っています。パソコン、スマートフォンなどにより、ライブ中継、録画放送をご覧いただけます。なお、録画放送はライブ中継配信の日付から30日間を経過すると削除されますので、ご注意ください。

同時に多くの方がインターネット中継を視聴された場合、映像がうまく映らないことがあります。また、本会議の様子は、インターネット配信のほか、今治CATV(株)のコミュニティチャンネル(11CH)でもライブ中継されています。

<p>一問一答方式 (いちもんいっとうほうしき)</p>	<p>質疑、質問（議員）と答弁（理事者）を交互に行う形式のことです。今治市議会では最初の質疑、質問は一括して行い、答弁もそれに対応して一括でされますが、再質疑、再質問から一問一答方式で行います。</p>
<p>開 会 (かいかい)</p>	<p>議会を開き、法的に活動しうる状態に置くことをいいます。このことから、開会とは議会活動の始点と言えます。</p>
<p>会 期 (かいき)</p>	<p>議会が会議を行う期間（開会日から閉会日まで）のことです。会期は招集された初日に議決によって決められます。</p>
<p>議事日程 (ぎじにってい)</p>	<p>議長が定めるその日の会議の順序表のことです。議長は事前に議事日程を定め、あらかじめ議員に配付することで、秩序ある議事の進行と会議の能率を高めることができます。</p>
<p>決算認定 (けっさんにんてい)</p>	<p>議会が決算の内容を審査した上で、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認することです。各年度予算の運営は執行部に任されているため、予算執行の実績や結果について、適正な運営がなされているかを改めて議会がチェックし、認定・不認定を判断します。</p>
<p>採 決 (さいけつ)</p>	<p>議長が出席議員に賛否の意思表示を求め、集計することです。その結果が議決となります。</p>
<p>執行機関 (しっこうきかん)</p>	<p>市長をはじめとし、行政委員会（教育委員会、選挙管理委員会、農業委員会、他）、行政委員（監査委員）など、行政の仕事を行う機関のことです。これに対し、議会は「議決機関」といいます。</p>
<p>定例会 (ていれいかい)</p>	<p>定期的に招集される議会会議のことで、今治市議会は条例により年4回と定め、規則により毎年3月、6月、9月、12月に開くとしています。</p>
<p>付議事件 (ふぎじけん)</p>	<p>事柄・案件のことを事件といい、議会で審議される事件のことを付議事件といいます。</p>
<p>臨時会 (りんじかい)</p>	<p>定例会以外の時期で、突発的事情が発生して必要が認められる場合に、特定の事項に限り随時招集されて開かれる議会のことです。臨時会は招集されるきっかけとなった事件に限って付議され、必要があれば回数に制限なく招集することができます。</p>



# 委員会審査

## 総務委員会

### 高度情報化推進費

本庁舎等における分散業務、ウェブ会議の活用等により、感染拡大防止と業務の継続を図るため、テレワーク環境を整備しようとするもの。

### 徴収費

市民等の利便性向上及び感染症予防の観点から、非対面による市税等の納付方法を拡充するためのキャッシュレス決済（スマホ決済）導入に要する経費。

### 水防活動費

6月18日～19日、7月6日～11日、14日の大雨に係る水防活動費。

今治市暴力団排除条例の一部を改正する条例制定について

公の施設において、暴力団の活動を助長し、又はその運営に資する利用を禁止しようとするもの。

### 波方支所（公民館）耐震補強及び改修工事の内建家その他工事請負契約の締結について

波方支所（公民館）耐震補強及び改修工事の内建家その他工事を目的とするもの。



耐震補強等が予定される波方支所（公民館）

### 今治市消防指令システム部分更新業務委託契約の締結について

今治市消防指令システム

ム部分更新業務を目的とするもの。

### 財産の取得について（業務システム用機器）

耐用年数経過による業務システム用機器の更新を目的とするもの。

### 今治市過疎地域自立促進計画の変更について

事業計画に台ダム周囲（大三島）の林道安全対策工事を追加しようとするもの。

## 教育厚生委員会

### 財産の取得について（学習用タブレット端末）

児童生徒の学習環境整備のため学習用タブレット端末（小学校7391台、中学校3397台）を購入しようとするもの。

### 防犯対策費

今治地区防犯協会が取り組む防犯カメラ設置事業に対し助成しようとするもの。

### 保育所管理運営費

保育料の納付に係るキャッシュレス決済導入に要する経費。

### 戸籍住民基本台帳管理費

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に当たり、窓口への来庁を抑制し、行政手続のオンライン化を推進するため、コンビニ交付サービス（住民票の写し・印鑑登録証明書）を令和3年2月（予定）に導入しようとするもの。

### 令和2年度今治市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

国民健康保険税の納付に係るキャッシュレス決済導入に要する経費。

### 令和2年度今治市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

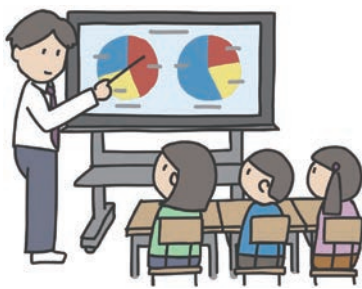
後期高齢者医療保険料の納付に係るキャッシュレス決済導入に要する経費。

### 令和2年度今治市介護保険特別会計補正予算（第1号）

介護保険料の納付に係るキャッシュレス決済導入に要する経費。

### 財産の取得について（大型提示装置）

児童生徒の学習環境整備のため大型提示装置（小学校72台、中学校25台）を購入しようとするもの。



大型提示装置イメージ

### 今治市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例制定について

医療費助成対象者の範囲を拡大しようとするもの。

### 今治市印鑑条例の一部を改正する条例制定について

個人番号カードによる印鑑登録証明書の交付を可能にしようとするもの。

## 産業環境委員会

### 次世代につなぐ果樹産地づくり推進事業補助金

次世代につなぐ果樹産地の育成を図るため、担い手の確保・育成や園地の生産基盤強化、商品力向上に取り組む団体を支援しようとするもの。

### 農業用施設災害復旧事業費

6月18日～19日、7月6日～11日、14日の大雨に係る災害復旧。

### 今治キャッシュレス決済プレミアム還元事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市民と飲食・小売業をはじめとする市内事業者を支援し、消費喚起と地域



経済の活性化を図り、新しい生活様式に対応したキャッシュレス決済を促進しようとするもの。

### 今治産品販路拡大・消費促進事業費

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている生産者、事業者を応援するため、非対面販売（通販、宅配等）を支援して、今治産品の販路拡大・消費促進を図ろうとするもの。

### 大三島クリーンセンター解体工事請負契約の締結について

大三島クリーンセンター解体工事の請負契約を締結しようとするもの。

## 建設水道委員会

### 公営住宅維持管理費

住宅使用料の納付に係るキャッシュレス決済導入に要する経費。

### 市単独道路災害復旧事業費

7月6日～11日、14日の大雨に係る災害復旧。

### 令和2年度今治市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

大下浄水場更新のための認可変更に係る経費。

### 令和2年度今治市公共下水道事業会計補正予算（第1号）

下水道事業受益者負担金の納付に係るキャッシュレス決済導入に要する経費。

### 今治市建築関係手数料条例の一部を改正する条例制定について

住宅環境向上用途誘導地区における建築物の遮蔽率又は高さの特例許可申請手数料を定めようとするもの。

## 地方創生特別委員会

### 生活交通バス路線維持・確保対策事業費

新型コロナウイルス感

染症の影響により、バス事業における収益が大きく減少している状況を踏まえ、補助金の一部を概算払いにより支給しようとするもの。



### 地方航路運航費

①大三島ブルーライン(株)今治～木江・大三島・岡村航路における、令和元年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）経常損失額に対する補助。  
②芸予汽船(株)今治～土生航路における、令和元年度（平成31年1月1日～令和元年12月31日）経常損失額に対する補助。

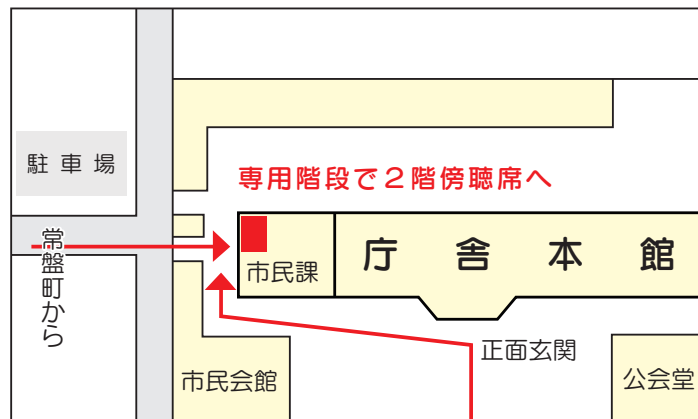
## 市議会を傍聴してみませんか

— 市政と議員の活動を知るよい機会です —

### 本会議の傍聴

本会議の当日、市役所本館市民課裏入口から2階へお上がりください。受付で住所・氏名などをご記入の上、傍聴席にお入りください。定員は80人です。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本会議の傍聴席は通常80席ですが、間隔を空けて座るように対策をしております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



市議会傍聴席案内図

### 委員会の傍聴

委員会の開会10分前までに市役所本館3階の議会事務局で受付をし、傍聴許可証の交付を受けてから、委員会の許可を得て傍聴できます。許可証の交付は5人までで、定員を超える場合は抽選で傍聴者を決定します。

令和2年9月定例会 議案の審議結果

番 号	件 名	結 果
		9月2日議決
議案 89	今治市立小中学校校内通信ネットワーク整備事業に係る契約の締結について	原案可決(全会一致)
議案 90	財産の取得について(学習用タブレット端末)	原案可決(全会一致)
		9月18日議決
議案 91	令和2年度 今治市一般会計補正予算(第7号)	原案可決(賛成多数)
議案 92	令和2年度 今治市用地取得特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案 93	令和2年度 今治市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案 94	令和2年度 今治市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案 95	令和2年度 今治市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案 96	令和2年度 今治市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案 97	令和2年度 今治市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案 98	今治市建築関係手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 99	今治市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案100	今治市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案101	今治市暴力団排除条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案102	今治市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案103	波方支所(公民館)耐震補強及び改修工事の内建家その他工事請負契約の締結について	原案可決(全会一致)
議案104	大三島クリーンセンター解体工事請負契約の締結について	原案可決(全会一致)
議案105	今治市消防指令システム部分更新業務委託契約の締結について	原案可決(全会一致)
議案106	財産の取得について(業務システム用機器)	原案可決(全会一致)
議案107	財産の取得について(大型提示装置)	原案可決(全会一致)
議案108	今治市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決(全会一致)
議案109	簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について	原案可決(全会一致)

番 号	件 名	結 果
報告 8	専決処分について ・ 損害賠償額の決定及び和解について ・ 損害賠償額の決定及び和解について ・ 損害賠償額の決定及び和解について	受 理
報告 9	公営企業資金不足比率について	受 理
発議 5	特別委員会の設置について	原案可決(全会一致)
	決算特別委員会委員の選任	選 任
議案110	令和元年度 今治市水道事業決算の認定について	継 続 審 査
議案111	令和元年度 今治市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継 続 審 査
議案112	令和元年度 今治市工業用水道事業決算の認定について	継 続 審 査
議案113	令和元年度 今治市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継 続 審 査
議案114	令和元年度 今治市公共下水道事業決算の認定について	継 続 審 査
議案115	令和元年度 今治市一般会計特別会計歳入歳出決算の認定について	継 続 審 査
報告 10	健全化判断比率等について	受 理
発議 6	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	原案可決(全会一致)



## 令和2年9月定例会 請願の審議結果

【前議会から継続しているもの】

番 号	件 名	結 果
請願第13号 (R2.6.8受理)	日本政府が、「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書提出の要望について	継 続 審 査

## 各議員の議案に対する賛否状況

賛否の分かれた案件の賛否状況を記載しています。

議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
番号	丹下大輔	黒川美樹	壺内彦	永井隆文	松田澄子	羽藤謙司	井村雄三郎	山岡健一	野間有造	藤原秀博	越智忍	重松文広	木村芳史	渡部京典	谷口京典	森近博	森田博	矢野雄嗣	越智卓三	中村文喜	渡辺誠	松岡洋行	井手秀夫	平田順人	堀田健次	本宮勝利	岡田明博	加藤政博	寺井敏彦	松田健司	井出健司		
議案 91	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○：賛成 ×：反対

※ 堀田順人議員は、議長職のため表決に加わっておりません。





令和2年6月

24日 会派代表者会議  
 広報広聴特別委員会

7月  
 6日 堀田議長今治小松自動車道建設促進に関する要望活動のため松山市へ出張

21日 第4回臨時議会運営委員会  
 堀田議長今治小松自動車道建設促進に関する要望活動のため香川県高松市へ出張

8月  
 4日 東予地区市議会議長会定期総会  
 5日 建設水道委員協議会



決算特別

委員会の設置

9月定例会に提出された令和元年度の水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業及び一般・特別各会計の決算に関する議案を審査するため、9月18日の本会議において決算特別委員会が設置され、15人の委員が選任されました。

委員長	越智 豊
副委員長	渡部 豊
委員	丹下 大輔
委員	松田 澄子
委員	羽藤 謙司
委員	藤原 秀博
委員	谷口 芳史
委員	森 京典
委員	近藤 博
委員	矢野 雄嗣
委員	渡辺 文喜
委員	平田 秀夫
委員	岡田 勝利
委員	加藤 明
委員	井出 健司

東予地区市議会  
議長会定期総会

8月4日、村上海賊ミュージアムにおいて東予地区市議会議長会定期総会が開催されました。

本会は、東予地区の4市議会の正副議長で組織され、地方自治の本旨に沿い、協同して地方自治の確立と東予地区の興隆発展を図ることを目的としており、総会では令和元年度の決算審議、今回提出された議案「高齢者の車安全運転装置設置に対する支援について」や「養護老人ホームに関する施設の更新支援制度の拡充について」の協議等が行われました。



定期総会の様子

意見書提出

「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」

地方自治法第99条の規定により、令和2年9月18日、国会並びに関係行政庁に意見書を提出しました。

広報広聴特別委員会

委員長	本宮 健次
副委員長	中村 卓三
委員	丹下 大輔
委員	黒川 美樹
委員	壺内 和彦
委員	永井 隆文
委員	木村 文広
委員	森 京典
委員	越智 敏彦
委員	松田 敏彦

市議会に対するご意見・ご要望を E-mail または FAX でお寄せください。  
 お寄せいただいたご意見・ご要望は、今後の参考とさせていただきます。

E-mail : gikai@imabari-city.jp